

のぼコン2020 キッズシリーズ ジャッジについての説明

当日は1人1壁を担当していただく予定です。

1. 課題のスタートは4点スタートではありません。よくあるジムの課題と同じように両手でホールドを保持して両足がマットからきちんと離れたら開始です。

- ・地面を蹴って1手目を取りに行ったような場合は一度制止して再度やらせてください。

- ・どうしても手が届かない場合は他のホールドを使ってスタートに行く事もアリとします。ただ、スタートポジションに入る事が核心、といった課題もあるためそうした課題の場合は他のホールドを使わずにスタートするように指示してください。迷ったら声をかけてください。

2. ゴールは両手で保持(または押さえる)して静止したらOKです。

- ・多少振られていても明らかに落ちそうもない時は特別待たずにOKにして良いです。

- ・逆に、両手で触っていても今にも落ちそう、振られが止められなさそうな場合は2秒程度様子を見てください。

- ・基本的には担当した壁の中で全員に同じような基準でジャッジできていればOKです。

3. ホールドを見失っている子に多少教えてあげるのはあります。

のぼコンの課題は既存のテープやホールドがたくさんある中で設定されていて、とても見づらい場合があります。ある程度右にあるよ、とか教えてあげるのは問題ありません。ただ、公平に対応していただけますよう、お願いいたします。

ただ、ムーブを言ってしまう「(例)次クロスでいけるよ!」とかはナシであくまでも「右にホールドあるよ」とホールドの場所を教える程度でお願いします。

4. 他のホールドに触ってしまった、使ってしまったような場合

- ・ジャッジから声をかけられてすぐ気がついた、自分で気がついて戻った場合はやり直してOKです。

- ・声をかけても気が付かずさらに進んでしまったような場合は一度降りて列に並び直してもらってください。

- ・デッド、ランジなどダイナミックの動きの課題の場合

偶発的にぶつかって止まった(足はすぐにホールドから離れた)ような場合はアリとして良いと思います。

偶発的であっても分で止まった(足が違うホールドにしばらく残った)ような場合は指摘してあげて再度並び直し(もしくは一つ前のホールドにデッドで戻れるならばやり直しOK)でお願いします。

困ったら太田に声をかけてください。

5. 概ね1回のトライ時間は1分以内にしてください。

- ・粘って粘ってなんどもやり直すようなトライがあると思いますが、公平を期すため、1分を過ぎたら声をかけて降りてもらってください。

6. ブザービートは有効です。

- ・競技時間終了!と声がかかった時に壁に張り付いていた人のトライは有効です。

7. ジャッジペーパーのチェックマークについて

- ・一応○(まる)を書く事で統一していただけたらと思います。

・ただ、実際のところバツでもレ点でもなんでもOKです。完登したのか、していないのかのチェックです。もし他のマークでつけたからといってさかのぼって修正する必要はありません。

他、疑問点などありましたらお気軽にご質問ください。